

高齢者の経済生活に関する意識調査結果

平成 24 年 3 月

内閣府政策統括官（共生社会政策担当）

目 次

第1章 調査の目的及び方法等

1 調査の目的	1
2 調査対象者、調査事項、調査方法等	1
(1) 調査対象者	1
(2) 調査方法	1
(3) 調査事項	1
(4) 調査実施期間	1
(5) 標本抽出方法	1
(6) 標本数及び有効回収数	2
(7) 調査委託機関	2
(8) 前回調査	2
(9) 企画分析委員会の設置と企画分析委員	2
3 調査対象者の基本属性	3
(1) 性別 (F 1)、年齢別 (F 2) 構成	3
(2) 性・年齢別 (F 1・F 2)	3
(3) 配偶者の有無 (F 3)	4
(4) 性・配偶者の有無別 (F 1・F 3)	4
(5) 配偶者の年齢 (F 3 S Q)	5
(6) 子どもの有無と数 (F 4)	5
(7) 同居の有無と相手 (F 5)	7
(8) 配偶者以外との同居世帯の家計 (F 5 S Q 1)	8
(9) 配偶者以外との同居世帯の家計の主体 (F 5 S Q 2)	9
(10) 家計を分けている子どもとの同居の理由 (F 5 S Q 3)	9
(11) 要介護認定 (F 6)	10
(12) 住宅の種類 (F 7)	10
(13) 最長職業 (F 8)	11
(14) 配偶者の最長職業 (F 8 S Q)	11
(15) 最長職業類型 (F 3・F 8・F 8 S Q)	12
(16) 健康状態 (F 9)	12
(17) 性・現在の職業別 (F 1・Q 3)	13
(18) 都市規模	13
4 報告書を読む際の留意点	14

第2章 調査結果の概要

1 経済的な暮らし向きに関する事項	15
(1) 現在の経済的な暮らし向き (Q 1)	15
(2) 経済的な暮らし向きの変化 (Q 2)	21
2 就労に関する事項	27
(1) 現在の職業 (Q 3)	27
(2) 定年年齢 (Q 3 S Q)	30
(3) 収入のある仕事をしている理由 (Q 4)	32

(4) 収入のある仕事をしている最大の理由 (Q 4)	39
(5) 退職希望年齢 (Q 5)	43
(6) 収入のある仕事をしていない理由 (Q 6)	47
(7) 収入のある仕事をしていない最大の理由 (Q 6)	51
(8) 収入のある仕事をしていた年齢 (Q 7)	54
(9) 今後、収入を得られる仕事につく意向 (Q 8)	56
(10) 仕事を選ぶ際に重視する条件 (Q 9)	61
(11) 仕事を選ぶ際に最も重視する条件 (Q 9)	64
(12) 配偶者の収入のある仕事の有無 (Q10)	68
(13) 配偶者に働いてもらいたい年齢 (Q11)	71
(14) 就業による収入が得られなくなった場合の年金による生活費 (Q12)	74
(15) 生活費不足分の対応方法 (Q12 S Q)	78
(16) 生活費不足分の最も主要な対応方法 (Q12 S Q)	83
3 収入・支出に関する事項.....	88
(1) 1ヶ月当たりの平均収入額 (Q13)	88
(2) 就業による所得の割合 (Q14-1)	94
(3) 公的年金の割合 (Q14-2)	99
(4) 最も長く保険料を支払った公的年金制度 (Q15)	102
(5) 配偶者が最も長く保険料を支払った公的年金制度 (Q16)	106
(6) 税金の負担感 (Q17-1)	110
(7) 社会保険料の負担感 (Q17-2)	114
(8) 過去1年で大きな割合を占める支出 (Q18)	118
(9) 学校を卒業した同居子の生活費支援 (Q19)	124
(10) 学校を卒業した別居子の生活費支援 (Q20)	128
(11) 優先的にお金を使いたいもの (Q21)	129
(12) 日常で負担を感じる支出 (Q22)	135
4 資産に関する事項.....	141
(1) 現在の貯蓄額 (Q23)	141
(2) 貯蓄額の増減 (Q24)	146
(3) 私的な年金・保険への加入の有無とその内容 (Q25)	151
(4) 自宅以外の不動産の保有 (Q26)	158
(5) 貯蓄の目的 (Q27)	163
(6) 老後の備え (Q28)	167
(7) 老後への貯蓄額 (Q29)	172
(8) 老後の備えとしての資産運用 (Q30)	178
(9) 財産管理を委ねる相手 (Q31)	184
5 介護に関する事項.....	190
(1) 子どもからの世話 (Q32)	190
(2) 世話の形態 (Q32 S Q)	195
(3) 世話の費用 (Q33)	200
6 社会保障制度に関する事項.....	206
(1) 社会保障給付と負担 (Q34)	206

7	人や地域とのつながりに関する事項	211
(1)	会話の頻度 (Q35)	211
(2)	頼れる人の存在の有無 (Q36)	214
(3)	生きがい (Q37)	218
8	地域活動、ボランティア活動に関する事項	221
(1)	過去1年間に参加した地域・ボランティア活動 (Q38)	221
(2)	今後参加したい地域・ボランティア活動 (Q39)	227
(3)	地域・ボランティア活動に参加しやすい条件 (Q40)	233
(4)	東日本大震災の被災地のために行った活動 (Q41)	238
9	高齢者政策や支援に関する事項	241
(1)	満足している政策や支援 (Q42)	241
(2)	今後特に力を入れて欲しい政策や支援 (Q43)	246

第3章 集計結果

	調査票と単純集計結果	251
--	------------	-----